

# すかい

地域を見つめる経済情報誌

## 長野しんきん 北信地区経済動向

2023  
令和5年  
1-20  
No.605

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

### 景況調査レポート



信濃町 どんど焼き  
一茶の俳句から

「どんど焼き どんどゝ雪の 降りにけり」一茶（七番日記）

準備万端、夕刻の点火を待つどんど焼き会場の雪原。  
一年の役目を果たしたダルマさん達に雪が降り積もっています。  
あと少しで子供たちにより火がつけられ、お飾りは天に帰ります。  
疫病が退散して、今年一年が良い年になりますように……。

「世の中が どんどゝ直る どんど哉」一茶（発句集続篇）

- 長野しんきん 景況調査レポート ……2
- 北信濃 明治時代の風景 (10) 往生寺 ……10

#### アンケート特集

- 2023年の経営見通し① ……5
- 2023年の暮らし向き 生活者 ……8

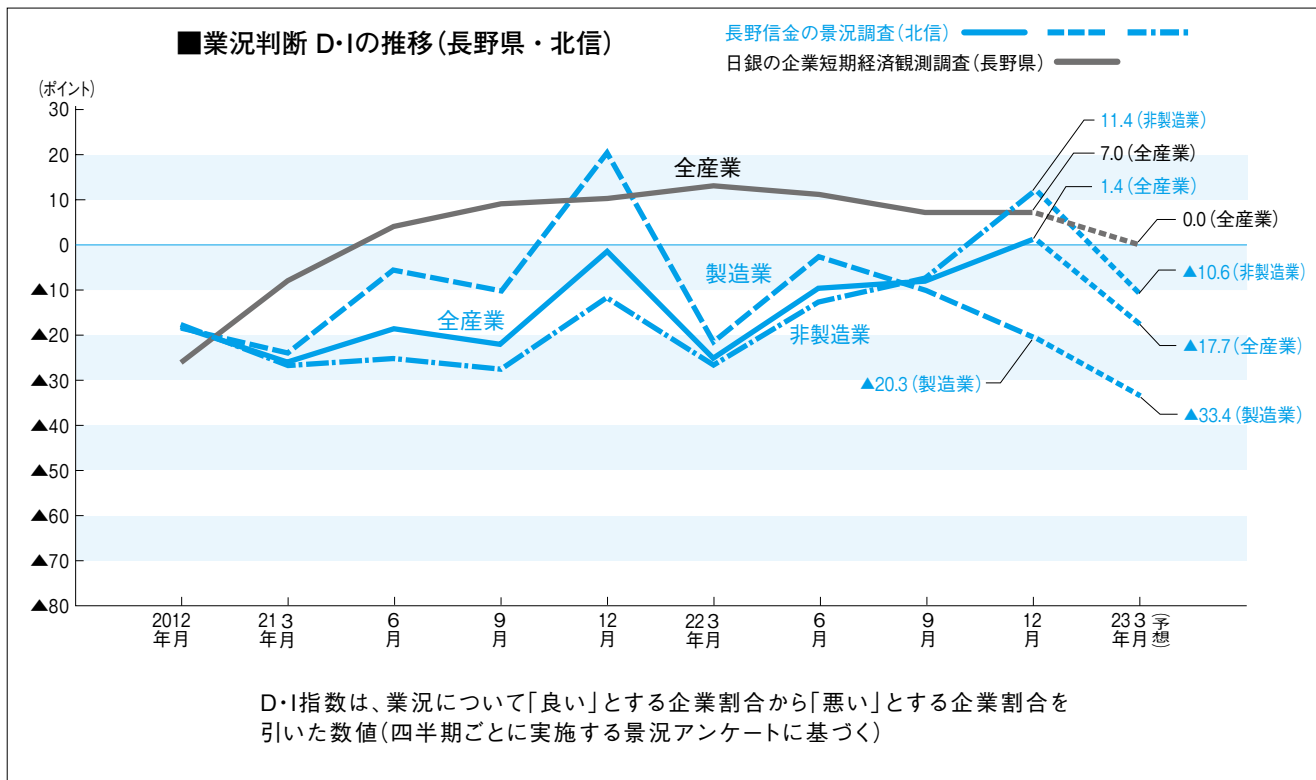
「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー  
にてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



 長野信用金庫

# 景況調査レポート 概況 (第190回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2022年10～12月期…景気の現状◇2023年1～3月期…景気の見通し



## 全産業▲8 → +1 製造業は悪化、非製造業は改善

2022年10～12月期の業況判断D-Iは、全産業で9ポイント改善して+1となりました。製造業は10ポイント悪化の▲20、非製造業は18ポイント改善の+11です。2023年1～3月期の全産業の業況判断D-I(予想)は、19ポイント悪化の▲18となりました。

### ◆北信地区の10月～12月期の業況判断D-I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲8	+1 (9ポイント改善)	▲18
製造業	▲10	▲20 (10ポイント悪化)	▲33
非製造業	▲7	+11 (18ポイント改善)	▲11

## 非製造業▲7 → +11 全業種で改善

非製造業の業種別業況判断D-Iは、建設業が+14(前期比+12ポイント)、卸小売業が+2(同+21ポイント)、

### ◆非製造業の業種別業況判断D-I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲7	+11 (18ポイント改善)	▲11
建設業	+2	+14 (12ポイント改善)	▲2
卸小売業	▲19	+2 (21ポイント改善)	▲12
サービス業	▲9	+16 (25ポイント改善)	▲22

サービス業が+16(同+25ポイント)となり、全業種で改善しています。

### ◆売上高D-Iと収益判断D-I

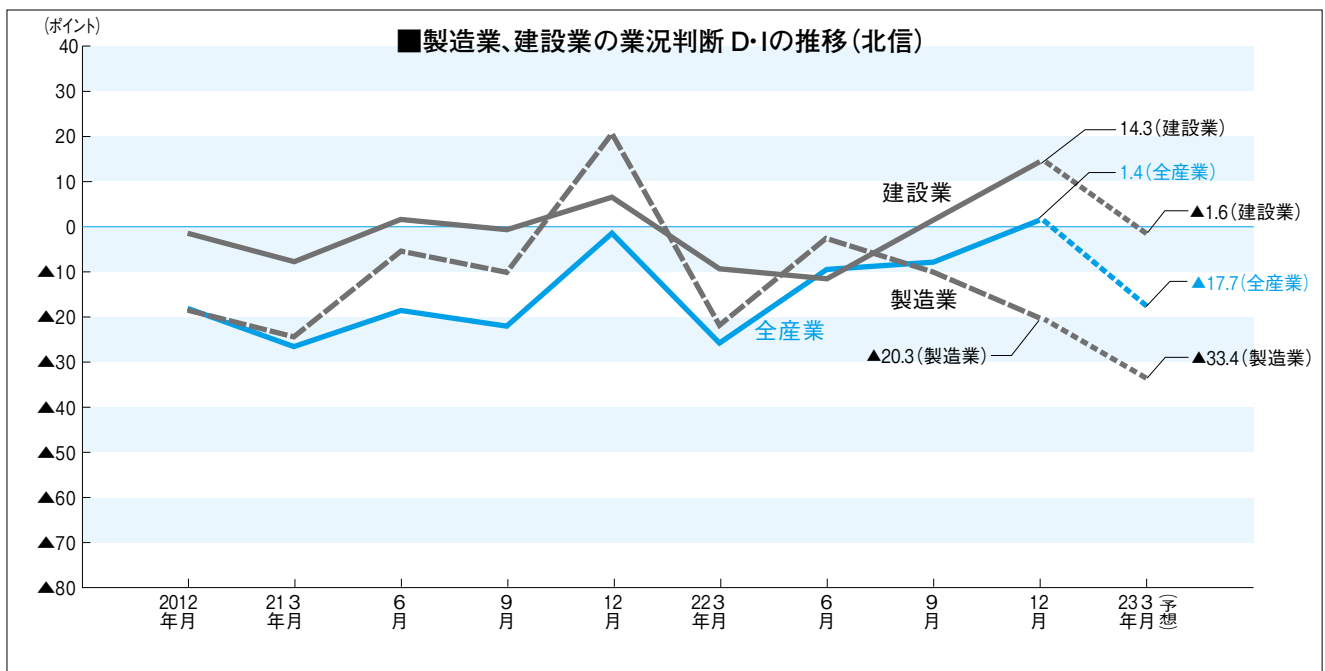
	売上高D-I(「増加」-「減少」)		収益判断D-I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	▲5	+13(改善)	▲15	+3(改善)
製造業	▲2	+1(改善)	▲13	▲16(悪化)
非製造業	▲7	+18(改善)	▲16	+11(改善)

### ●北信地区の業況判断D-Iの推移

	2022年3月	6月	9月	12月	2023年3月(予想)
全産業	▲25.1	▲9.5	▲8.0	+1.4	▲17.7
製造業	▲21.5	▲2.8	▲10.0	▲20.3	▲33.4
非製造業	▲26.8	▲12.7	▲7.3	+11.4	▲10.6

### [調査要領]

- 調査実施……2022年12月
- 調査対象企業(回収)
  - 製造業……71社
  - 建設業……64社
  - 卸小売業……43社
  - サービス業……47社
- 合計……225社
- 回収率……90.0%
- 従業員規模
  - 30人未満……73.3%
- 分析…D-I判断指数を中心に分析



## 製造業の景況

10期悪化して▲20に、来期も悪化の予想

製造業の10～12月期の業況判断D・Iは▲20で、前期(▲10)に比べ10期悪化となりました。1～3月期は今期より13期悪化の▲33の予想です。

	(前期)	7～9月期	▲10
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	▲20
	(来期)	1～3月期	▲33(予想)

### ◇業種別業況判断D・I

悪化 食料品・一般機械・電気機械

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲16(3期悪化)

「増益」割合 前期 12% → 18%(6期増加)

「減益」割合 前期 25% → 34%(9期増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」 前期 46% → 36%(10期減少)

「収支トントン」 前期 39% → 47%(8期増加)

「赤字」 前期 15% → 17%(2期増加)

### 企業からのコメント

☆秋頃から受注に力強さを感じるようになってきた。

行動制限のない中で感染対策を講じての経済が動き出してきた感じがする。(シール・ラベル)

☆★コロナはやや収まってきているが、比較的高価な商品を購入したり、贈ったりするという流れは変わっていないように思われる。(乾そば)

★原材料価格、電気料金の高騰が止まらず、業績への影響も出始めている。仕入れ関係のほとんどが値上りしている状況。(各種プラスチック製品)

## 建設業の景況

12期改善して+14に、来期は悪化の予想

建設業の10～12月期の業況判断D・Iは+14で、前回(+2)に比べ12期改善しています。1～3月期は今期より16期悪化の▲2の予想です。

	(前期)	7～9月期	+2
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+14
	(来期)	1～3月期	▲2(予想)

◇業種別	総合建設	前期 +46 → +30(16期悪化)
	土木工事	前期 ▲9 → ▲8(1期改善)
	建築	前期 ▲14 → +5(19期改善)
	各種設備	前期 +20 → +33(13期改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+8(27期改善)

「増益」割合 前期 13% → 21%(8期増加)

「減益」割合 前期 32% → 13%(19期減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」 前期 50% → 54%(4期増加)

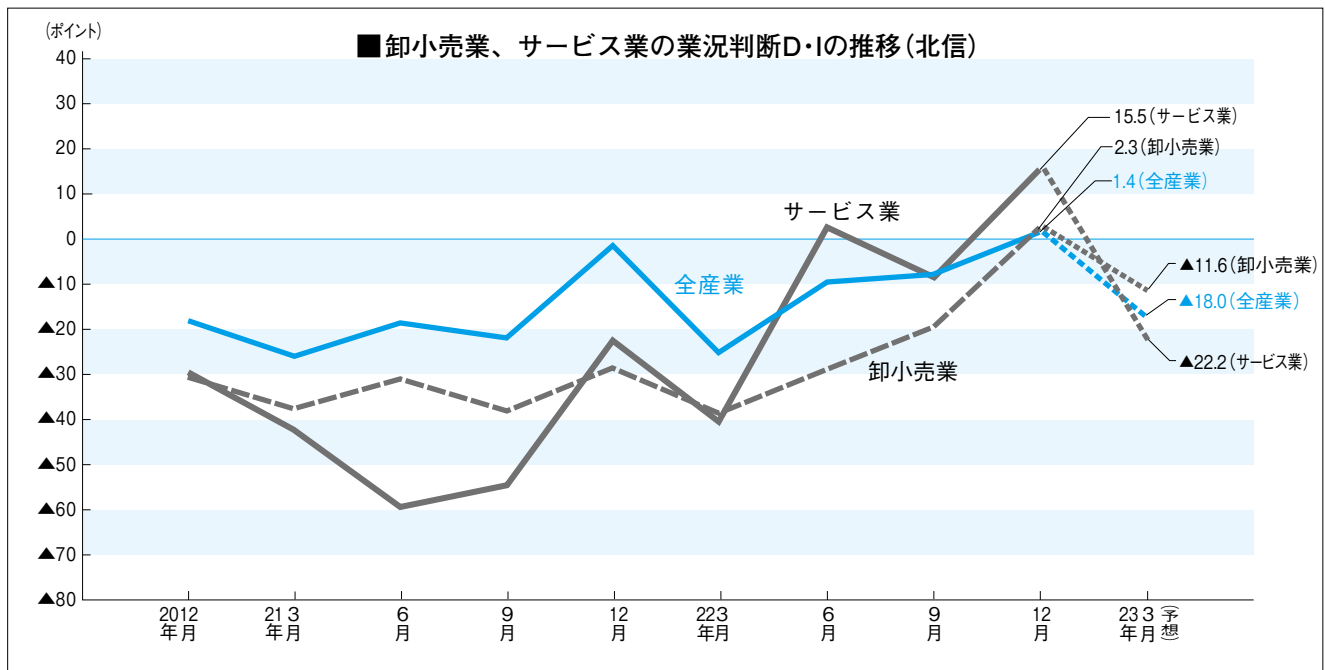
「収支トントン」 前期 45% → 43%(2期減少)

「赤字」 前期 5% → 3%(2期減少)

### 企業からのコメント

☆★木材価格はやや安定してきたが、建設資材価格は依然として下がらず高止まりのまま。また、職種問わず人手不足の状況が続いており、下請け確保に支障が出ている。(総合建設)

☆★旅行や外出に行かない分、住宅リフォームや建て替えを考える人が多く、住宅建築相談も活発だったが、それもそろそろ終了しそうな気がする。(建築)



### 卸小売業の景況

#### 21%改善の+2、来期は悪化の予想

卸小売業の10~12月期の業況判断D・Iは+2で、前回(▲19)に比べ21%改善しました。1~3月期の業況判断D・Iは14%悪化の▲12の予想です。

◆業況判断D・I	(前期)	7~9月期	▲19
	(今期)	10~12月期	+2
	(来期)	1~3月期	▲12(予想)

◇業種別	卸売業	前期	▲18 → +6	(24%改善)
	小売業	前期	▲21 → ±0	(21%改善)

◆収益判断D・I	(「増益」-「減益」)	▲2	(13%改善)
「増益」割合	前期	15% → 21%	(6%増加)
「減益」割合	前期	29% → 23%	(6%減少)

◆現在の採算状況	悪化	
「利益確保」	前期33% → 23%	(10%減少)
「収支トントン」	前期36% → 56%	(20%増加)
「赤字」	前期31% → 21%	(10%減少)

### 企業からのコメント

- ★必要な箇所に必要な人材が揃わない。サービス業に「働き方改革」の導入は厳しいと思われる。(土産品)
- ☆お客様から、省エネ家電の補助金を利用しての家電購入相談が増加している。(家電販売)
- ☆昨年はリンゴの出来も良く豊作だった事から、仕入も安定しており収益は上々。(青果卸)
- ☆長野市内においては「プレミアム商品券」利用での売り上げが好調。(酒類)

### サービス業の景況

#### 25%改善の+16、来期は悪化の予想

サービス業全体の10~12月期の業況判断D・Iは+16で、前回(▲9)と比べ25%改善しました。業種別では、サービス・輸送・タクシー・運輸・観光・不動産が改善し、外食が悪化しています。1~3月期の業況判断D・I(予想)は38%悪化の▲22です。

◆業況判断D・I	(前期)	7~9月期	▲9
	(今期)	10~12月期	+16
	(来期)	1~3月期	▲22(予想)

◇業種別業況判断D・I		
サービス	前期 +13 → +14	(1%改善)
輸送	前期 ▲30 → ±0	(30%改善)
タクシー	前期 ▲33 → +33	(66%改善)
運輸	前期 ▲29 → ▲17	(12%改善)
外食	前期 ±0 → ▲11	(11%悪化)
観光	前期 ±0 → +50	(50%改善)
不動産	前期 ▲18 → +20	(38%改善)

### 企業からのコメント

- ☆★「全国旅行支援」の影響で、当地域にもお客様が戻ってきた。当館はそれとは関係なく好調が続いていたが、「人手不足」な状況から、満館にできない日も出てきている。(和風旅館)
- ☆★観光客が増加し売上げも好調。インバウンド利用も回復してきた。しかし第8波の感染拡大で先行きは不透明。(タクシー)
- ☆★人員不足と燃料の高騰が経営上の課題である。(トラック輸送)



業況判断D・I

2022年の業況(見込み) **+9** [良い]34% [悪い]25%

2023年の業況見通し **▲9** [良くなる]17% [悪くなる]27%

アンケート  
2023年の経営見通し ①  
2022年12月調査

2022年の業況(見込み) [良い]34%、[悪い]25%の業況判断D・Iは+9となり、2021年(+4)に比べ5割の改善となりました。

2023年の業況見通し [良くなる]17%、[悪くなる]27%の▲9となり、2022年(+7)に比べ16割悪化の予想となりました。

2022年の業況

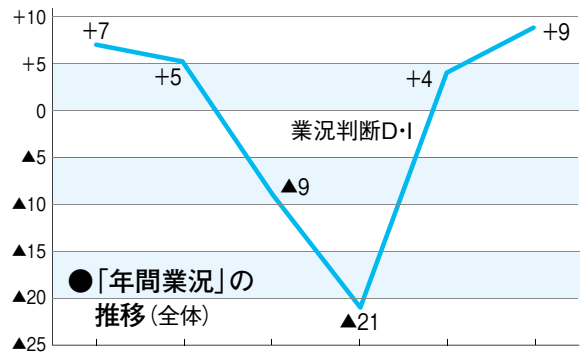
30人未満 **+6** [良い]30% [悪い]24%  
30人以上 **+15** [良い]43% [悪い]28%

「2022年の業況(見込み)は、2021年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良い」と「やや良い」を合わせた[良い]と答えた企業(34%)から、「悪い」と「やや悪い」を合わせた[悪い]と答えた企業(25%)

悪い」を合わせた[悪い]と答えた企業(25%)を引いた業況判断D・Iは+9となり、2021年(+4%)に比べ5割改善しました。

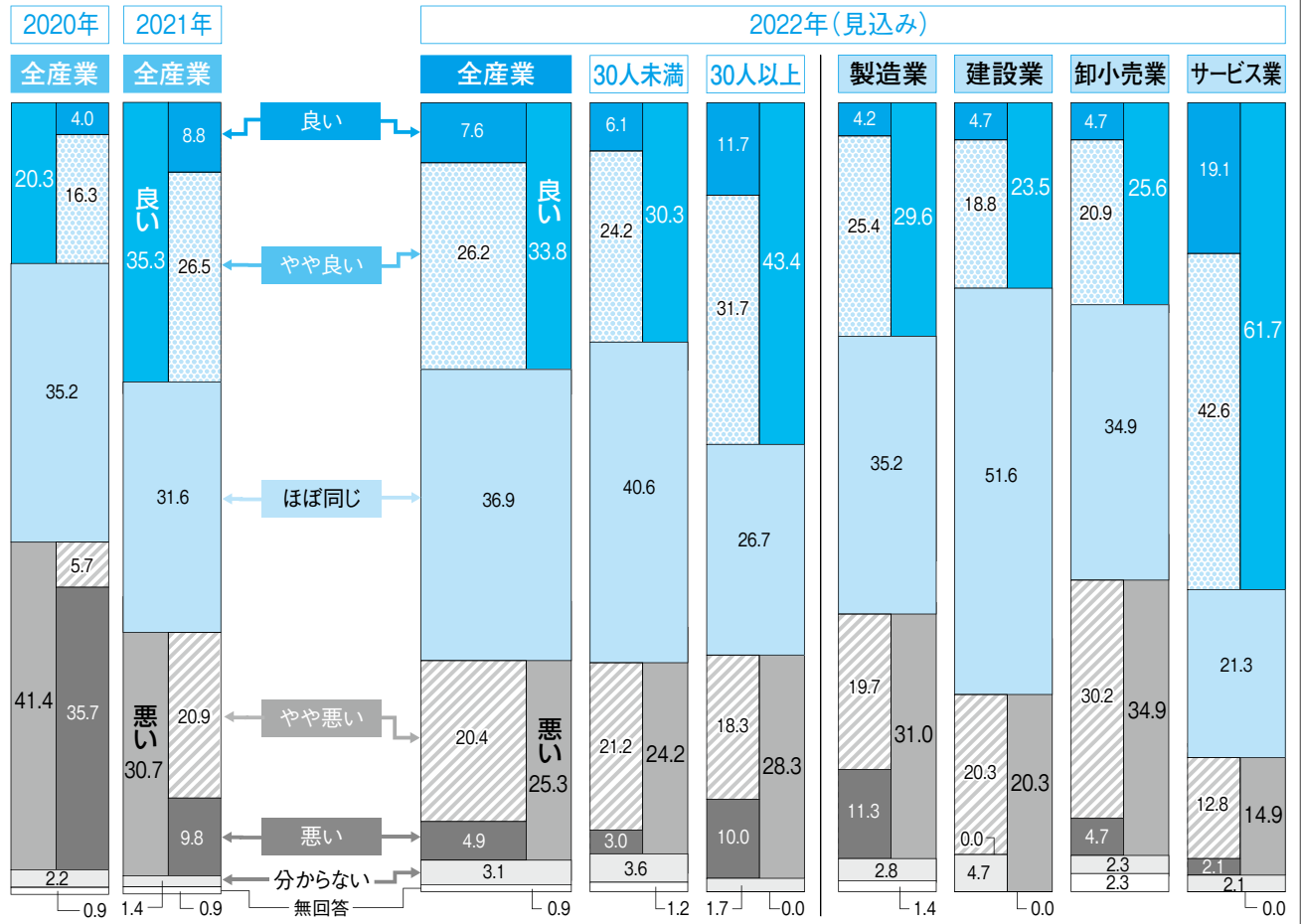
従業員規模で見ると、30人未満の+6に対し



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
良かった	31%	30%	25%	20%	35%	34%
悪かった	24%	25%	34%	41%	31%	25%

●2022年の業況(見込み)は、2021年に比べてどうか(%)

～全産業は2021年(+4)より5割改善して+9に～



て、30人以上は+15となり、30人以上が9割上回りました。

業種別

サービス業+47、建設業+3  
製造業▲1、卸小売業▲9

◇4業種 (2021年比)

**製造業** 業況判断D・Iは、2021年実績(+32)に比べ33割悪化の▲1となりました。30人未満は+5、30人以上は▲10です。

**建設業** 業況判断D・Iは、2021年実績(▲8)に比べ11割改善の+3となりました。30人未満は+3、30人以上は±0です。

**卸小売業** 業況判断D・Iは、2021年実績(▲15)に比べ6割改善の▲9となり、30人未満は▲19、30人以上は▲43です。

**サービス業** 業況判断D・Iは、2021年実績(±0)に比べ47割改善の+47となりました。30人未満、30人以上はともに+47となり、他業種に比べ最も高くなりました。

2023年の業況見通し

30人未満 ▲10 [良い]16% [悪い]26%  
30人以上 ▲ 8 [良い]20% [悪い]28%

「2023年の業況見通しは、2022年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]と答えた企業(17%)から、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]と答えた企業(27%)を引いた業況判断D・Iは▲9となり、2022年実績(+7)に比べ16割悪化しました。

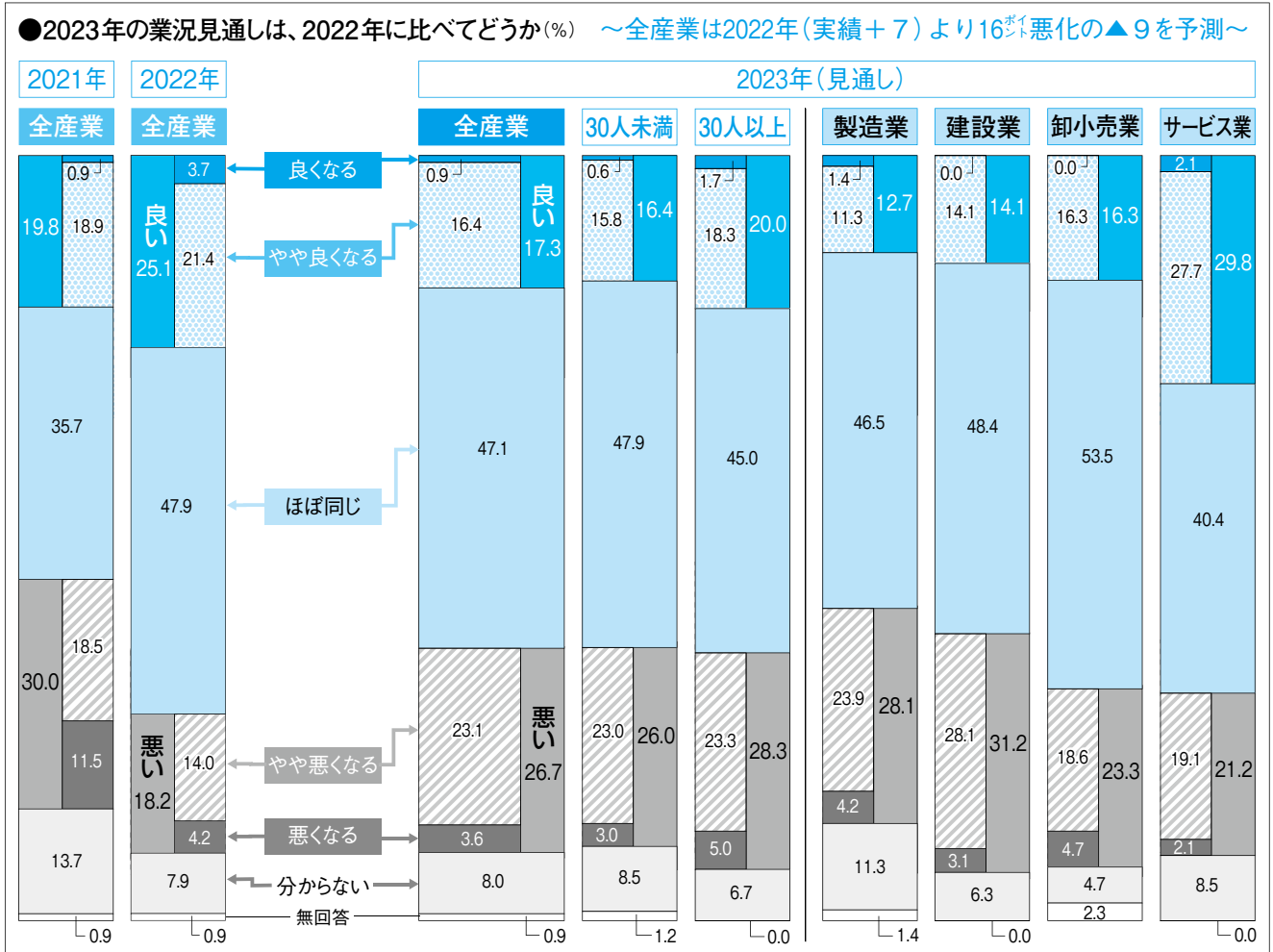
従業員規模で見ると、30人未満の▲10に対して、30人以上は▲8となり、30人以上が2割上回っています。

業種別

製造業は悪化したが、ほかの業種は改善傾向

◇4業種 (2022年比)

**製造業** 業況判断D・Iは、2022年実績(+15)に



比べ30%悪化の▲15となりました。30人未満▲12、30人以上は▲21です。

**建設業** 業況判断D・Iは、2022年実績(▲3)に比べ14%悪化の▲17となりました。30人未満は▲17、30人以上は▲20です。

**卸小売業** 業況判断D・Iは、2022年実績(±0)に比べ7%悪化の▲7となりました。30人未満は▲17、30人以上は+43です。

**サービス業** 業況判断D・Iは、2022年実績(+

17)に比べ8%悪化の+9で、他業種に比べ最も高くなりました。30人未満は+18、30人以上は▲5です。

#### [調査要領]

実施期日：2022年12月上旬～中旬

実施方法：第190回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収225社(製造業71社、建設業64社、

卸小売業43社、サービス業47社)

うち従業員30人未満165社(73.3%)

### 「2023年の展望と業界見通し」に関する企業からのコメント

#### 製造業

- ◇長期にわたる経済の停滞で社員の高齢化が進んでいる。新規人材の投入と高付加価値化製品の導入を目指している。(医療用検査器機)
- ◇自動車業界は、半導体や部品供給不足の混乱も解消している。弊社の生産も改善すると同時に、特定受注品の付加価値増が見込めるので、収益の改善を期待している。(自動車内蔵ミッション部品加工)
- ◇新社屋(工場建設)工事を開始。稼働後は作業効率が向上することから、経費削減による増収を見込んでいる。(光学レンズ製品)
- ◇コロナ禍が解消されて経済が回復するだろう。円安や物価高の影響もありつつ、高付加価値並びにニッチトップの製品作りを目指す。(金属製品)
- ◇新型コロナウイルス感染の終息は見えないが、商談会等で販路を拡大していきたい。原材料高による値上げも検討している。(味噌・漬物)
- ◇部材の品不足による納期の順延や発注の遅れ及びコスト高による収益の悪化が予想される。先々の見通しが見えづらい環境にある。(電気機械)
- ◇テレビ番組で放送され反響もあったが、高望みはせず堅実な経営を実践するのみです。(なめ茸製造)
- ◇不安定要素がありすぎて現状は楽観視できないが、昨年と同等か、少し良い感じではないかと思う。(シール・ラベル)
- ◇業況が上向き要素があまり見当たらないので、昨年の水準を保てれば良いと思う。何か明るい話が出てくれば良いが…。(金属製品加工)

#### 建設業

- ◇従業員の高齢化がより一層進んでしまって、技術を受け継ぐ20～30歳代の若い人材の不足が経営上の重要課題となっている。(電気設備)
- ◇「コロナショック」による経済循環の悪化や世界的な経済情勢の悪化で、厳しい一年が予測される。
- ◇工事高は増えているが、資材価格の上昇が続いて

いるため、収益は悪化している。

- ◇今年は「人材の確保」を焦点にしていきたいと考える。(以上総合建設業)

- ◇資材の高騰が続き、住宅の建築コストが値上りしている。このまま高止まりの状態だと市場が縮小してしまうと危惧する。(建築業)

#### 卸小売業

- ◇中古車販売や整備は概ね安定推移の見通し。電気自動車への移行等も控えているが、当面は大きな変化は無いと思われる。(自動車販売・整備)
- ◇2023年も酒類市場は「業務用チャンネル」の落ち込みが回復せず、“家飲み需要”が引き続き好調と思われる。店舗においては、収益面で低調な店舗のスクラップを加速。取組面においては新たに「メーカー直送形」を取り込みたい。(酒類)
- ◇仕入価格の値上げが相次ぎ、当社の商品も値上げせざるをえない状況。今後の動向はどうか予想がつかない。(靈芝)
- ◇生花や鉢物の生産量ならびに物流のシステムが大きく変わるのではないか。(花鉢)

#### サービス業

- ◇遠方への団体旅行という形態が年々少なくなっているため、地元のお客様の平日利用に重点を置いた方が売上げは安定すると思う。(宿泊業)
- ◇インバウンドの復活や全国旅行支援の延長(予定)等の好材料もあるが、多くの業種の「人手不足」が「受け入れ」や「誘客」にも影響してくると思われる。(和風旅館)
- ◇飲食店は好調と不調の明暗がはっきりしている。不調な店舗は何らかの改善が必要な年となるだろう。(不動産)
- ◇燃料高騰等のコストは引き続き負担となるが、貨物の動きは少しずつ回復し、相応の利益確保ができるだろう。業況見通しは多少の回復を見込んでいるが、依然として不安定な状態。(一般貨物輸送)

2022年の暮らし向き

▲19 [良くなった]7% [悪くなった]26%

2023年の暮らし向き

生活者アンケート

2022年12月調査

2023年の暮らし向き(予測)

▲22 [良くなる]10% [悪くなる]31%

2022年の暮らし向き [良くなった]7%、[悪くなった]26%で、暮らし向き判断D・Iは▲19となり、前年(▲6)より悪化しています。

2023年の暮らし向き [良くなる]10%、[悪くなる]31%で、暮らし向き判断D・Iは▲22となり、悪化を予測しています。

◇2022年 ▲19([良くなった]7%・[悪くなった]26%)

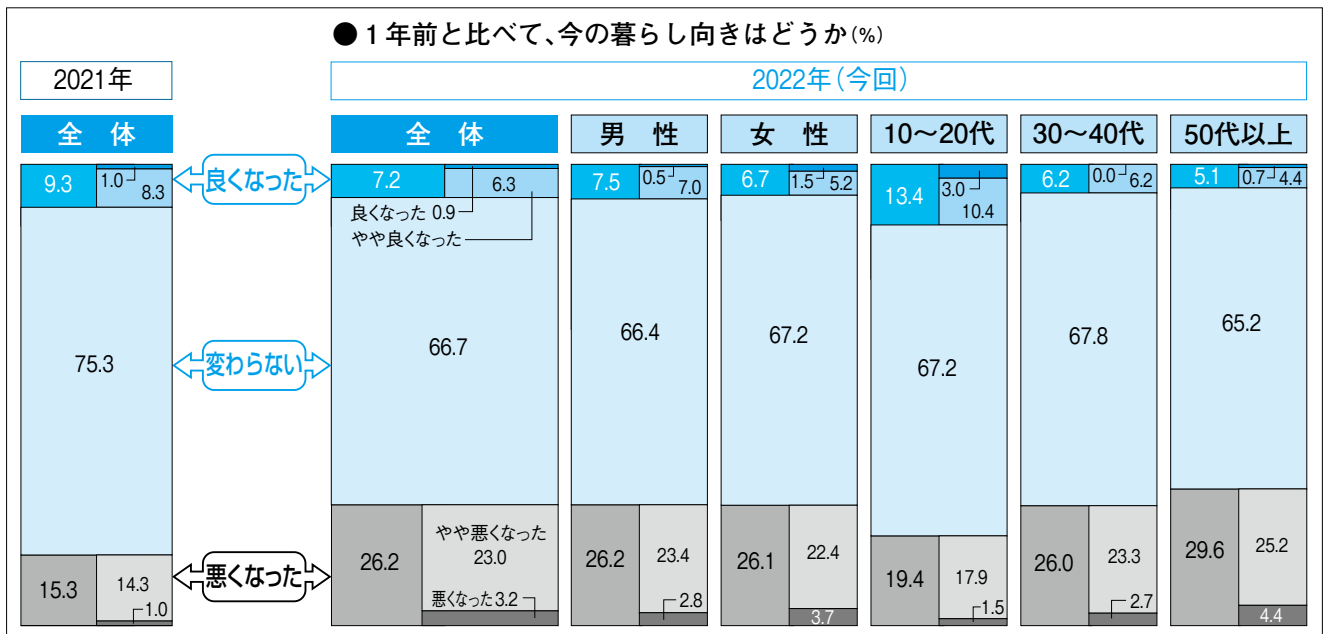
◇2023年(予測) ▲22([良くなる]10%・[悪くなる]31%)

2022年の暮らし向き  
2021年に比べ改善

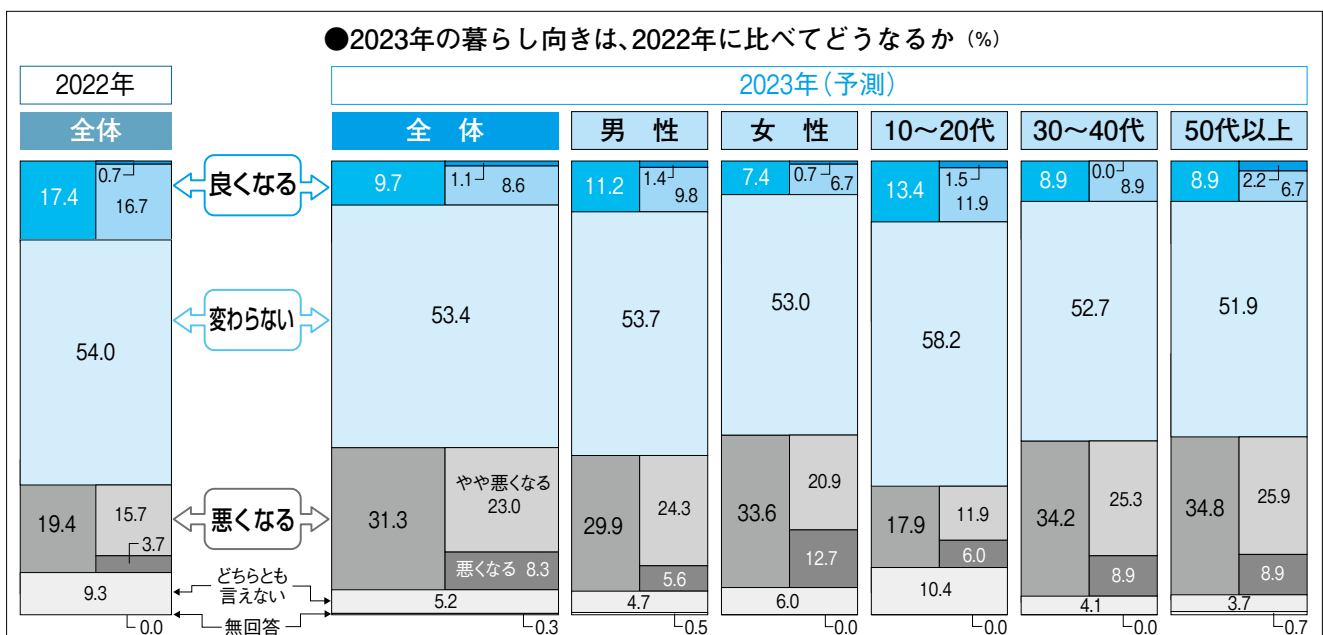
「2022年の暮らし向きは、2021年と比べてどうか」を聞きました。

「良くなった」と「やや良くなった」を合わせた[良くなった]は7%(2021年調査:9%)「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた[悪くなった]は26%

●1年前と比べて、今の暮らし向きはどうか(%)



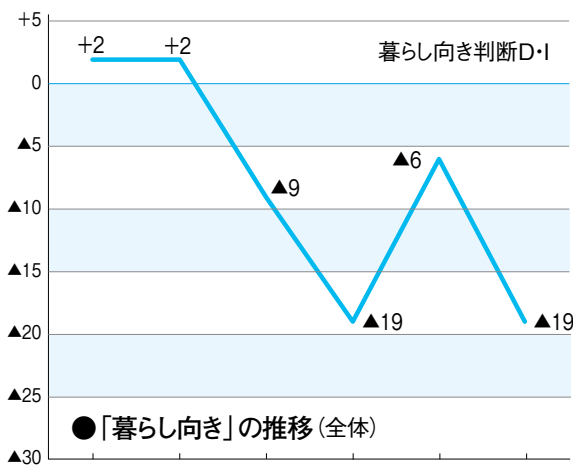
●2023年の暮らし向きは、2022年に比べてどうなるか(%)





% (同調査：15%)で、暮らし向き判断D・Iは▲19となり、2021年(▲6)に比べ13ポイント悪化しました。

男女別では、[良くなった]は男性8%、女性7%、[悪くなった]は男性、女性ともに26%となり、暮らし向き判断D・Iは男性▲18、女性▲19となり、女性が1ポイント高くなりました。世代別では、10～20代が▲6、30～40代が▲20、50代以上が▲25となり、その差は19ポイントと広がっています。



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
良くなった	14%	12%	8%	6%	9%	7%
悪くなった	12%	10%	17%	25%	15%	26%

## 2023年の暮らし向き(予測)

### 2022年(実績)に比べ3ポイント悪化

「2023年の暮らし向きはどうか」を聞きました。

「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]は10% (2022年実績17%)、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]は31% (同調査:19%)で、暮らし向き判断D・Iは▲22となり、2022年実績(▲2)に比べ20ポイント悪化(予測)となりました。

男女別では、[良くなる]は男性11%、女性7%、[悪くなる]は男性30%、女性34%となり、暮らし向き判断D・Iは男性▲19、女性▲27となり、女性が8ポイント高くなりました。世代別では、10～20代が▲5、30～40代が▲25、50代以上が▲26となり、その差は21ポイントとなっています。

#### [調査要領]

実施期日：2022年12月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客348人(男性214人・女性134人)

調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

## 「暮らし向き」に関する生活者からのコメント

- ◇新型コロナウイルス終息の見通しがなかなかつかない中、物価高も止まらず、これからの生活に不安を感じている。(20代女性)
- ◇現状の生活を維持して暮らしていければ、多くは望みません。
- ◇物価高になっていて、買い物の際に商品の購入を躊躇することがある。
- ◇物価高を実感しつつも、今の生活水準を落とすことは難しく、支出が増加してしまう。(以上20代男性)
- ◇物価高が進む中で、給与も上がったらうれしい。
- ◇新型コロナの感染者が、自分の周りに急に増えてきた。第8波になって初めて「身近なことなのだ」と感じている。(以上30代女性)
- ◇昨年、子どもが生まれたが、この子が成人するときに日本の財政状況がどうなっているか不安である。いやその前に、子育て期間の我が家の家計状況がもっと心配。(30代男性)
- ◇世の中のありとあらゆるモノが値上げとなるが、給料だけが上がらない。子どもへの仕送りがあるので頭が痛い。
- ◇新型コロナウイルスが、早く“5類”相当になってほしい。(以上40代女性)

- ◇電気・ガス・ガソリン等、身の回りの生活必需品がどんどん値上がりしている。(40代男性)
- ◇物価高による家計への負担は大きい。電気料金節約のために家電製品の見直しを検討している。
- ◇権堂町に新たなスーパーが出来て、人の流れが増してきた。街が活性化していくのがうれしい。
- ◇ガソリン・灯油代など、冬場は生活費が高くてついでに厳しい。
- ◇早く、新型コロナウイルスの特効薬が出来て欲しいと願っている。(以上50代女性)
- ◇真面目に働き、質素に暮らしていても、収入の減少と支出の増加で将来の不安が増すばかり。(50代男性)
- ◇日本は、物価上昇と景気減速が進む「スタグフレーション」の状態に陥っている。社会保障制度が十分にカバーできない人々への影響が心配。
- ◇日本人全体に責任感が薄れてきた。日本だけ、世界から取り残されている気がする。(以上60代以上女性)
- ◇IT化で生活が便利になっている反面、ついていけない部分も増えている。
- ◇コロナ禍の行動制限の緩和により、景気が良くなることを期待したい。(以上60代以上男性)

# 北信濃 明治時代の風景

## (10) 往生寺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治12年(1879)にできた『腰村誌』の、往生寺の図です。

### 腰村

現在の長野市西長野と新諏訪は、元は水内郡腰村でした。腰村は明治14年(1881)に西長野町と改称し、明治22年(1889)には長野町に合併して、長野町大字西長野となりました。

『腰村誌』によれば、腰村という不思議な村名の由来は次のように伝えられています。

善光寺の本尊は本田善光によって、伊那郡の元善光寺(飯田市)から水内郡の現在地に移されました。この時、如来の輿を担いで来た人々がこの地に住み、開拓したことから輿村と呼ばれ、後に腰村となったというのです。

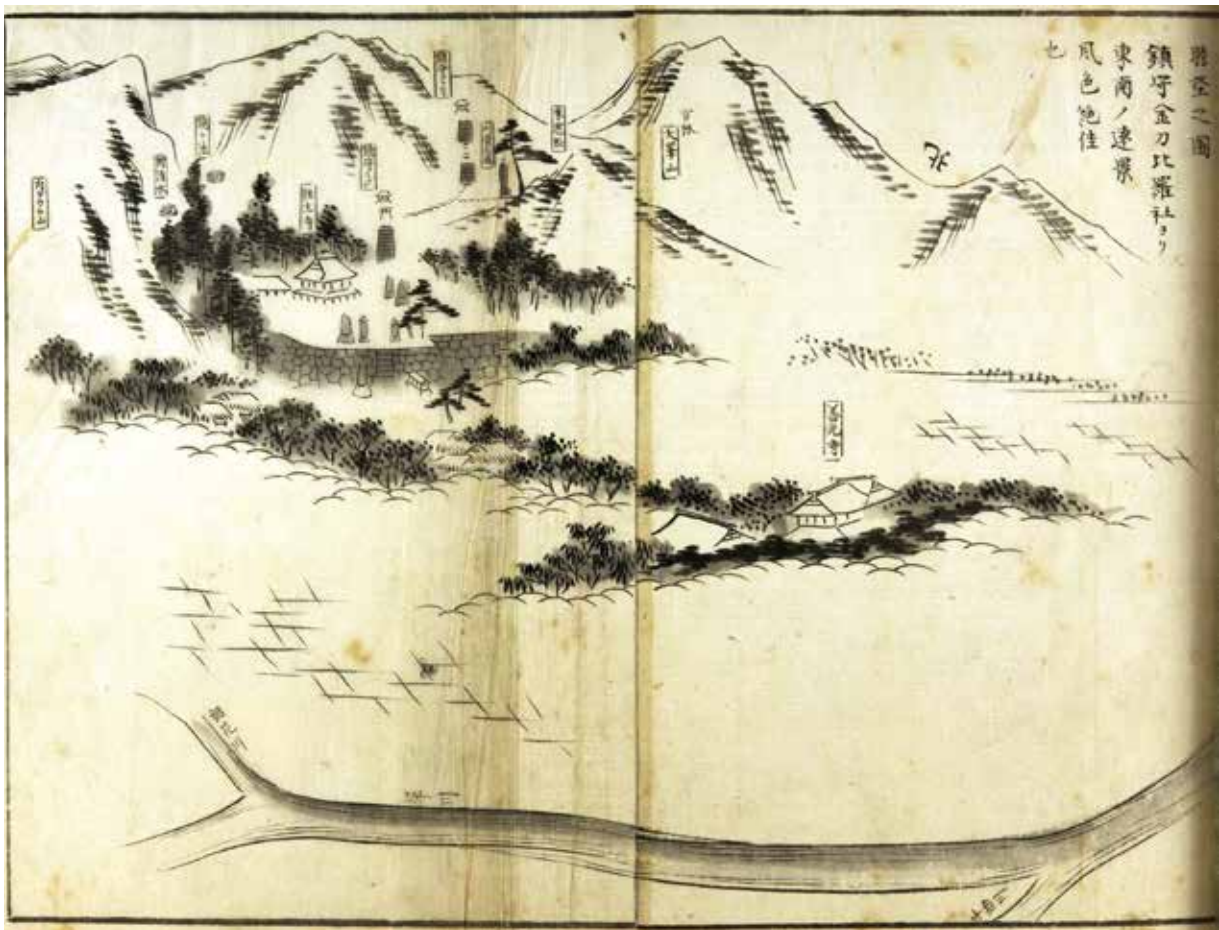
長野市安茂里小市に、要月山称名寺(浄土真宗本願寺派)という寺があります。その山号の「要月」は「腰」を分解したものです。称名寺はもともと腰村にあったとされています。

### 往生地と往生寺

その腰村(西長野)の北東部にあるのが往生寺で、その地名も同じ読み方の往生地です。ただし往生地という地名は大字西長野だけではなく、隣接する大字長野にも広がっています。桜の名所の往生地公園は、大字長野にあります。

### 絵を読む

左上に往生寺の境内が描かれています。ここは往生寺山の山麓で、右奥には「大峯山」(大峰山)が連なっています。その辺りは「官林」(国有林)です。江戸時代は善光寺領だったのですが、明治以降は国有林となりました。



『腰村誌』(長野県立歴史館蔵)より



右上には「瞻望之図、鎮守金刀比羅社ヨリ東南ノ遠景風色絶佳也」と書いてあります。「瞻望」は遥かに遠くを眺めることで、鎮守の金刀比羅社からの東南の眺めがすばらしいというのです。その金刀比羅社は、境内の最も高いところに「鎮守コトヒラ」として描かれています。

「往生寺」本堂の右上にも、「鎮守イナリ」があります。その右に「刈萱地蔵」の石仏が描か

れています。これが刈萱塚と呼ばれる刈萱上人の墓です。その脇には、善光寺如来が出現されたという「来迎松」があります。

本堂の背後には、鏡ヶ池と柳清水があります。柳清水は善光寺七清水の1つです。

この絵には中央から右にかけて、「善光寺」が描かれています。往生寺は善光寺参りの人々が足を延ばして参拝する、善光寺の奥の院的な寺だったのです。また下部に千曲川、犀川、裾花川が描かれているのは、この図が遠来の参拝者に売られていた絵図等を参考にしてしているからでしょう。

### 往生寺と絵解き

往生寺では、往生寺の由来を語る刈萱上人と石堂丸の物語の絵解きが、伝統的に行われてきました。長野市出身の医者で作家、正木不如丘(1887～1962)の『三太郎』は、少年時代の体験を元にした小説です。それによれば、往生寺では小坊主が絵解きをしていて、その声が悲しいので三太郎たちは涙を流します。

実際には往生寺では女性が絵解きをすることが多く、「ウグイスの尼」と呼ばれた名人もいたということです。

### 往生地のリンゴ

往生地はリンゴの産地として知られています。往生地のリンゴ栽培は明治12年(1879)に始まったといい、往生寺の参道で土産物として販売されま



往生寺の刈萱塚(刈萱地蔵) 背後の松の木が来迎松

した。善光寺から往生寺に向かう参道には、かつては両側に土産物店が建ち並んでいたのです。

「美しく豊かにりんご実りたるしなの秋の山のひ雪」という相馬御風(1883～1950)の歌碑が、展望道路沿いに建てられています。御風は新潟県糸魚川市に生まれ、早稲田大学校歌「都の西北」や童謡「春よ来い」などの作詞で知られています。

### 地元民の行楽地

江戸時代の往生寺は、善光寺参りの人々が参拝する寺であるとともに、善光寺周辺に住む人々が気軽に訪れる行楽地でした。花見の名所としても知られていました。小林一茶は往生寺で、

「さく花の開帳に迄逢にけり」と詠んでいます。往生寺では、花見の時期に合わせてご開帳が行われていたのでしょう。

島崎藤村の小説『破戒』には、「往生寺の山の上に登つて、苜萱の墓の畔に立ち乍ら、大きな声を出して呼び叫んだ時代のことを憶出して見ると」という一節があります。長野の師範学校を出て飯山の小学校教師となった主人公瀬川丑松が、師範学校時代を回想する場面です。往生寺は、師範学校(現在の信州大学教育学部)の生徒たちがしばしば訪れる寺であったことが分かります。

2月号は「栗田城跡」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

◆北信地区の景気

景気判断D・I ▲42 「良くなった」3% 「悪くなった」45%

「北信地区の景気は良いと感じているか」を聞きました。

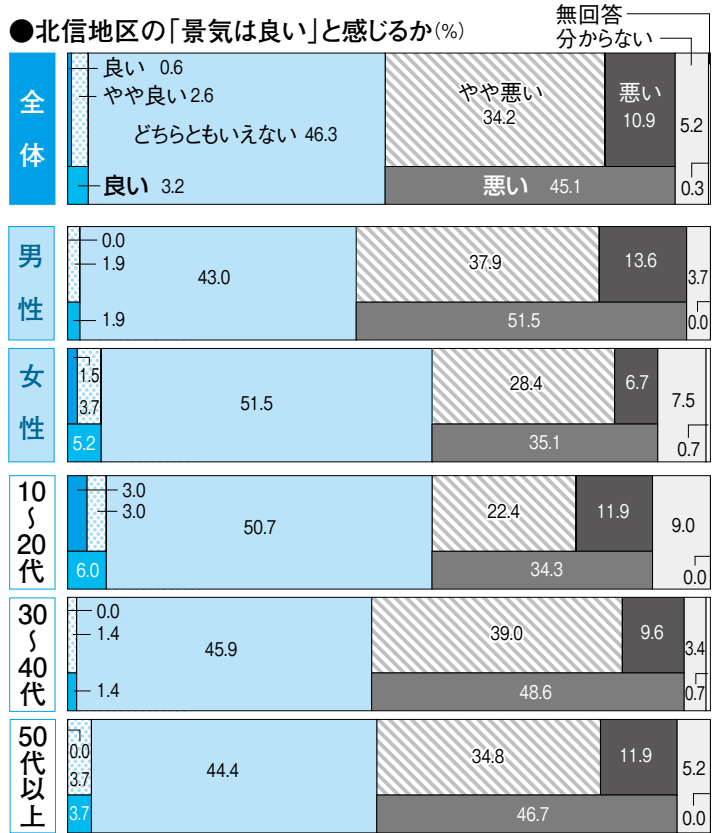
「良い」(0.6%)と「やや良い」(2.6%)を合わせた[良い](3%)から「やや悪い」(34%)と「悪い」(11%)を合わせた[悪い](45%)を引くと、景気判断D・Iは▲42%となりました。

男女別の景気判断D・I見ると、男性▲50%、女性が▲30%で、男性が20ポイント高くなりました。

年代別の景気判断D・I見ると、10～20代が▲28%、30～40代が▲47%、50代以上が▲43%と15ポイント差となりました。

〈当金庫・2022年12月調査〉

●北信地区の「景気は良い」と感じるか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [2月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
2月 2日 木	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	2月 16日 木	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
3日 金	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	17日 金	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
8日 水	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	21日 火	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
9日 木	長池支店 (大豆島支店)		22日 水	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日 月	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	24日 金	本 部	
14日 火	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	28日 火	本 部	

